



ぼうさいこくたい2026 in 鳥取 セッション



助け合い・繋がり合いのコミュニティ ～福島から全国へ～

東日本大震災に伴う福島県の大規模事故では、故郷を離れる「広域避難」が数多くありました。大規模事故以降、災害時にこの言葉が一般的に使われるようになった経緯があります。避難先でも避難元でも、新たな「人」と共にコミュニティの形成と再生の取り組みがあります。それは助け合い・繋がり合い・伝え合いでした。その「あい」から生まれ、根づく防災への思いについて、地域に根差しながら、広域避難の現場で防災に取り組む登壇者の皆さんと考えます。

2026年**10月18日** 日 12:30-14:00

会場：エースバック未来中心 2F セミナールーム3B

※ハイブリッド開催(申し込みの際に会場・オンラインを選択ください)

登壇者

モデレーター



鈴木 典夫

福島大学地域未来デザインセンター
特任教授

登壇者



佐藤 淳子

NPO法人とっとり災害支援連絡協議会
代表理事

登壇者



森島 幹博

北陸3県への避難者と応援の会「11の会」
共同代表

登壇者



伊藤 航

福島大学地域未来デザインセンター
相双地域支援サテライト コーディネーター

本セッションでは、鳥取県、石川県での広域避難者支援、福島でのコミュニティ支援の事例から、福島が経験した広域での支え合いと足元の地域での取り組みが、全国の地域コミュニティの再生と今後の災害への備えに、どのように生かせるのかを考えます。

参加をご希望の方は、下記の2次元コードよりお申込みください ※10/15(木)締切

お問い合わせ

福島大学地域未来デザインセンター

TEL：024-504-2834／080-3327-9613

MAIL：designc-satellite@adb.fukushima-u.ac.jp

申込はこちら→
10/15(木)締切



協力：NPO法人とっとり災害支援連絡協議会 北陸3県への避難者と応援の会「11の会」

※本事業は、福島大学が受託する福島県委託事業として実施します